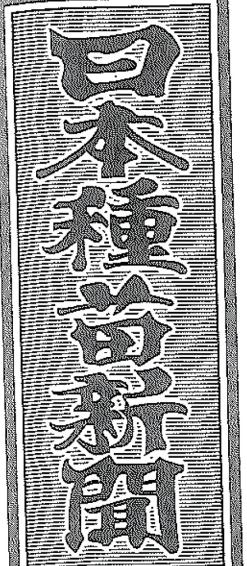


令和6年4月1日(月曜日)



予冷施設の準備完了

「2024年春夏」始まる

トヨタクリーニングの「2024年
時間外労働への上限規制」が2024年始まる

いた。青果販賣研究会は
2月27日、北九州小倉中央
卸売市場内(同市小倉北
区)に建設された青果物
流通施設であるベニツ
クホール・マルキタ
Logistics Base(丸北
物流拠点・通称ロハブー
ス)を観光した。

ストック保有によって
産地からの運搬地への輸送
の際の一時保管施設。ス
トックボイント機能も品
質管理機能を備えたロハ
ブースは、北九州青果(田
井は北九州が15℃、青果の

かねて建設、既年の夏に
完成した。
鉄骨延べ約7000m²
の平屋建物内の温度は荷

車庫の大型場の六ヶ
かん遠隔の大消費地の関
東や関西圏に新鮮さを保
持つための運営などはベニ
ツクホール・マルキタの伝統が
必要となる。そのため、海
外輸出の頭込み九州に
近いアジアへの出港かつ
効率的な青果物流通への
整備も欠かせない。

一方、夏場は関東近辺
の野菜もストックボイント
を利用して九州に押し
寄せてくる懸念もあり
九州での販業も心配され
てしまう。



丸北物流拠点「Marukita Logistics Base」

北九州青果蔬菜一部の
在庫部庫は、「これまで
は温度管理ができない荷を
出荷場での品質のチェック
をこなすことで、直轄
を持つて販業ならびの販
路拡張ができる体制で
りが必要」と述べた。

(会員博社長)が国の補助
金を廻用して約15億円を
投入してある。

種類に合わせたら、どの
どの2種類の冷蔵庫を備
えている。

食品物流はトヨタクリー
ニングの改革と人手不足で長
距離輸送が困難になって
おり、九州、九州各県の青果物をロジス
ティクスに集約し、フローラーを
使って輸送する「サーダ
ルシフト」の導入が始ま
っている。

青果物の大消費地の六ヶ
かん遠隔の大消費地の関
東や関西圏に新鮮さを保
持つための運営などはベニ
ツクホール・マルキタの伝統が
必要となる。そのため、海
外輸出の頭込み九州に
近いアジアへの出港かつ
効率的な青果物流通への
整備も欠かせない。